

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月1日

事業ID:2023005864

事業名:愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」(A)コミュニティモデルの運営(2年目)

団体名:特定非営利活動法人えがお咲く丘

代表者名:理事長 池田直樹

TEL:052-750-1802

事業完了日:2023年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	58,590,000 円
自己負担額	:	5,000,000 円
助成金額	:	53,600,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	59,474,305 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	5,874,305 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	53,600,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

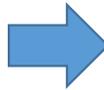
### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」(B)コミュニティモデルの開設
(1)物件現況:病院
(2)取得形態:借地
(3)工事内容:木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サッシ入れ替え工事、サイン工事など
(4)施設名称:スマイルスポーツスクール 3S
(5)面積:総面積約186m <sup>2</sup>
(6)構造:木造
(7)施設概要:子どもスペース、ミニキッチン、相談室、多目的室など
(8)定員:子ども20名

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」(B)コミュニティモデルの開設
(1)物件現況:病院
(2)取得形態:借地
(3)工事内容:木工事、電気工事、空調設備工事、設備配管工事、弱電工事、サッシ入れ替え工事、サイン工事など
(4)施設名称:スマイルスパリゾート
(5)面積:総面積約186m <sup>2</sup>
(6)構造:木造
(7)施設概要:子どもスペース、ミニキッチン、相談室、多目的室など
(8)定員:子ども20名



#### (3)成功したこととその要因

工事に遅れが生じたが、子ども第三の居場所と整を令和5年度末までに開所することができた。

#### (4)失敗したこととその要因

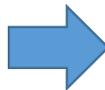
特になし

(5)事業内容詳細

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

1. 愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」(B)コミュニティモデルの運営  
(1)時期:2023年10月1日~2024年3月31日(週3日、放課後から20時まで開所)  
(2)場所:愛知県名古屋市  
(3)対象:10名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。変化する時代を子どもたちがたくましく生き抜けるよう、探求心・思考力・協働力・挑戦心・忍耐などの様々な力を伸ばすためのスポーツプログラム



(2)事業内容の実施(完了)状況

1. 愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」(B)コミュニティモデルの運営  
(1)時期:2023年10月1日~2024年3月31日(週3日、放課後から20時まで開所)  
(2)場所:愛知県名古屋市  
(3)対象:10名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年中心)  
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。変化する時代を子どもたちがたくましく生き抜けるよう、探求心・思考力・協働力・挑戦心・忍耐などの様々な力を伸ばすためのスポーツプログラム

(3)成功したこととその要因

子ども食堂や子育て広場は、法人やスタッフのつながりにより広まっていった。その後、小学校区域内に根付いていった。

(4)失敗したこととその要因

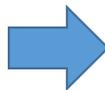
学童スタッフの採用ができず、運営できなかった。

(5)事業内容詳細

愛知県名古屋市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営

■事業内容3

(1)契約時の事業内容



(2)事業内容の実施(完了)状況

(3)成功したこととその要因

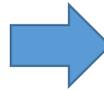
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2023年10月1日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設する。
- ・2024年3月31日までにの一日平均利用児童数を10名にする。
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供。
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に1回実施する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	189	文字数チェック	OK
-------	-----	---------	----

- 1 コミュニティモデルは開設完了。
- 2 利用児童数は、子育て広場4組/回、子ども食堂13人/回だった。学童を実施できなかったため、運営体制を構築する。
- 3 町内会議への参加及び施設の周知、学校、区役所、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などに周知を行った。
- 4 オリジナルの流術を月1回開催し、自身の特性を知り、特性に合ったトレーニング方法について学ぶ機会を提供した。

### 3.事業実施によって得られた成果

施設の認知度が少しずつ高くなり、一定の新規・リピーター利用者がある。

子育て広場では、手形・足形アートを実施し、思い出づくりの一つとなったほか、託児付き蒸気浴の事前予約なども行い、居場所と収益事業双方に良い影響を与えることができた。

子ども食堂では、これまで法人として関わりのなかった地域であるものの、施設のことを知る良い機会となった。食育について伝えながら、調理の楽しさ、食材の選び方などを知る体験になった。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

収益事業の認知度の低さ、集客の困難さが際立った。

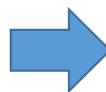
学童スタッフが集まらず、運営を開始できなかった。

ニーズは付近の学童関係者から聞いており、必要としている方がいるため、時給や運営体制を整え、夏休みから実施できるように周知・準備していく。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書  
建築物(写真等)



#### (2)事業完了時の成果物名称

スマイルスパリゾート紹介パンフレット  
完了報告書  
建築物(写真等)

(3)未作成となった要因

なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

[https://nippon.zaidan.info/nf\\_lib/nf\\_libServlet/nf\\_lib1050?np=1019&jigyo\\_id=0000098594](https://nippon.zaidan.info/nf_lib/nf_libServlet/nf_lib1050?np=1019&jigyo_id=0000098594)